

2. 「宮前区のミライを考える さぎぬまプロジェクト」の概要

1

宮前区のミライを考える さぎぬまプロジェクトの概要 ①

○「宮前区のミライを考える さぎぬまプロジェクト」は、民間による再開発が予定されている鷺沼駅前に望まれる公共機能について、まちづくりフォーラムや意見交換会などを通じて、川崎市と宮前区民の皆さんとともに検討するプロジェクトです。

■ 鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の検討に関する考え方 (平成30年2月公表)

(1) 検討にいたる経緯

- 鷺沼駅周辺地域の現状と課題
- 民間における再開発の動き
- 議会各会派や市民等からの意見・要望

※「3. 宮前区の現状とこれまでの検討状況」であらためて説明します。

(2) 宮前区の主な公共施設の状況

- アクセスに不便という声
区役所、市民館・図書館等が隣接して立地しているものの、宮前平駅からの急坂がきつい、バスでも行きにくいという声が以前から寄せられています。
- 施設や設備の老朽化
区役所庁舎は築35年、市民館・図書館は築32年となり、施設や設備の老朽化が進んでいます。
- 施設更新の際の技術的な課題
現地での施設更新には仮設庁舎建設用地が必要となるなど、将来的な課題が見込まれます。

(3) 基本的な考え方

- 鷺沼駅周辺再編整備に導入する公共機能
区役所・市民館・図書館等の移転可能性を含めて検討します。
- 駅アクセスの向上
公共機能の検討を踏まえ、公共交通による駅アクセスの向上について検討します。

(4) 検討の進め方

宮前区のミライを考える さぎぬまプロジェクト！

- まちづくりフォーラム
- 意見交換会（ワークショップ）
- 区民アンケート
- 関係団体説明・ヒアリング
- 行政内部での検討

次ページへ

宮前区のミライを考える さぎぬまプロジェクトの概要 ②

○このプロジェクトでは、区役所・市民館・図書館などの移転可能性も含め、鷺沼駅前に望まれる公共機能について検討していきます。鷺沼駅周辺の方々だけではなく、宮前区全体に関係のある大きな取組です。
 ○そこで市では、「宮前区のミライを考える」というフレーズをプロジェクト名に付けました。
 ○本日の「まちづくりフォーラム」をはじめとして、意見交換会や区民アンケートなど、さまざまな取組を積み重ねながら、個々の結果だけではなく、「(仮称)鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針(以下「基本方針」という)」の策定に向けて、プロジェクト全体を通して多角的に検討を進めていきます。

■各取組の概要

(1) まちづくりフォーラム

プロジェクトの取組内容を幅広くお知らせして、参加者の御意見を伺います。

■第1回 ⇒ 本日

■第2回 ⇒ 11月11日(日)開催予定

(2) 意見交換会(ワークショップ) **本日×切!**

4回連続の内容で検討を深めていきます。(土曜開催)

■①6/9 「共有する」

期待や関心、思い、意見などを共有します。

■②7/21 「鷺沼駅周辺や宮前区のミライを探る」

第1回を踏まえ、ミライに向けたアイデアを出し合います。

■③9/8 「公共機能を中心として共通点を確認する」

アイデアを整理し、共通点や違いを確認します。

■④10/27「アイデアを取りまとめる」

第2回まちづくりフォーラムで報告する内容をまとめます。

(3) 区民アンケート

無作為抽出の2,000人を対象として、区民の意識を統計的に把握します。

■調査期間 5月末ごろ～6月末ごろ

(4) 関係団体説明・ヒアリング

区役所の日常業務等で関わりのある団体等を対象に、2月に公表した「検討に関する考え方」を説明しました。

※「3.宮前区の現状とこれまでの検討状況」であらためて説明します。

(5) 基礎調査

区役所等の建物の現状確認、移転を想定した場合の必要床面積の整理、現在の建物を継続利用した場合と移転した場合の必要概算経費の算出などを行います。

※8～9月に作業状況を報告します。

宮前区のミライを考える さぎぬまプロジェクトの概要 ③

○これまでに関係団体説明・ヒアリング等でいただいた御意見は、①検討の進め方に反映、②意見交換会などの論点として活用、など、市として随時整理しながら取組を進めています。
 ○今後も意見交換会などの取組を進め、民間における再開発の計画検討の中での議論が可能となるよう、**平成30年度内の基本方針策定に向けて、多角的に検討を進めていきます。**

■主なスケジュール

